

# マルハニチログループのサステナビリティマネジメント

マルハニチログループでは、いまよりもっと「サステナブルな企業グループ」へ進化していくことをめざし、サステナビリティ長期ビジョン(2018～2027年度)を策定しました。中期経営計画では、重点課題(マテリアリティ)を掲げて、環境・社会の課題解決に貢献するとともに、持続的な企業価値の向上を追求しています。

## マルハニチログループの重点課題(マテリアリティ)

「経済価値」の創造	「社会価値」の創造	「環境価値」の創造
<p><b>■ 企業価値の向上と持続的成長</b></p> <p>1. 収益力の更なる向上 2. 成長への取り組み 3. 経営基盤の強化</p> <p>売上高 <b>1兆円</b> 営業利益 <b>310億円</b> ROA <b>5.7%</b> D/Eレシオ <b>1.5倍</b> 自己資本比率 <b>30%</b></p> <p>漁業・養殖 営業利益目標 <b>30億円</b> 商事 営業利益目標 <b>66億円</b> 海外 営業利益目標 <b>111億円</b> 加工 営業利益目標 <b>82億円</b> 物流 営業利益目標 <b>18億円</b> その他 営業利益目標 <b>4億円</b></p>	<p><b>■ お客さまへの価値</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 安全・安心な食の提供</li> <li>● 「消費者志向経営」の推進</li> <li>● 「生涯健康計画」の推進</li> </ul> <p><b>■ 従業員への価値</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 成長機会の提供</li> <li>● 安全で働きやすい職場づくりの推進</li> <li>● ダイバーシティの推進と働き方改革の実施</li> <li>● 健康経営の推進</li> <li>● 人権の啓発推進</li> </ul> <p><b>■ お取引先への価値</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 持続可能な調達の実践</li> </ul> <p><b>■ 地域・社会への価値</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域社会との共存・共栄</li> </ul>	<p><b>■ 地球温暖化対策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 2021年度までにCO<sub>2</sub>排出量を売上高単単位で2017年度比4%以上削減</li> </ul> <p><b>■ 循環型社会の構築</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 2021年度までに廃棄物排出量を売上高単単位で2017年度比4%以上削減</li> <li>● 2021年度までに廃棄物の再生利用率99%をめざす</li> </ul> <p><b>■ 海洋資源の保全</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 持続可能な漁業・養殖認証の取得を推進</li> <li>● IUU(違法、無報告、無規制)漁業廃絶への取組みを強化</li> <li>● 完全養殖事業の拡大</li> <li>● 環境配慮型養殖技術への取組みを推進</li> </ul>

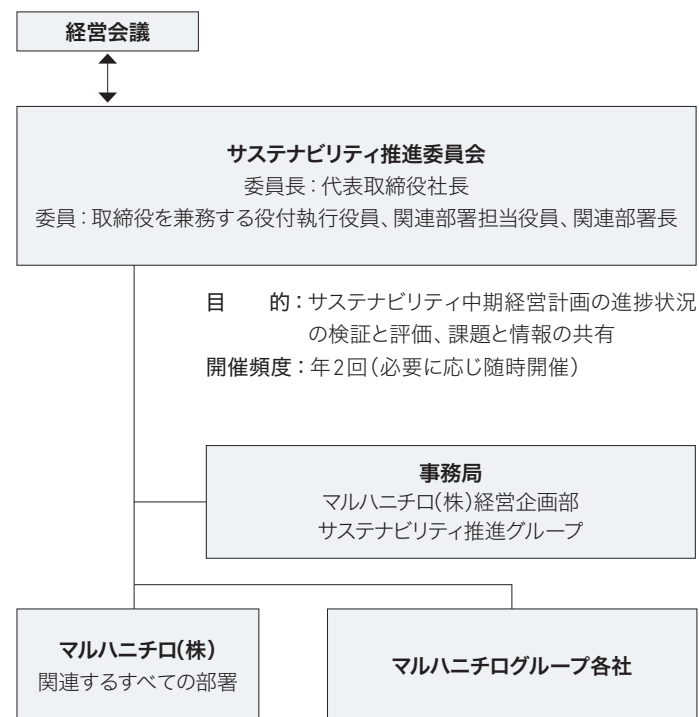
## サステナビリティ推進体制

マルハニチログループにおいて、2018年度に新設した「サステナビリティ推進委員会」は、代表取締役社長が委員長を務め、マルハニチロ(株)取締役を兼務する役付執行役員、関連部署担当役員および関連部署長を委員とし、構成されています。

「サステナビリティ推進委員会」では、グループサステナビリティ経営全般の企画立案や目標設定、およびグループ各社の活動評価をしています。またマルハニチロ(株)の各部署およびグループ各社と連携して活動を推進しています。

**2020年度開催実績：2回**  
**主な議題：**  
 ・サステナビリティ中期経営計画における2019年度レビューと2020年度計画について  
 ・水産資源調査の実施について  
 ・サプライヤー調査の実施について  
 ・海洋プラスチック問題への取組み

## マルハニチログループサステナビリティ推進体制図



## 安全・安心な食の提供

中期目標	2020年度		2021年度	対象	責任部署
	行動計画(主な施策)	実績	行動計画(主な施策)		
品質マネジメントシステム「マルハニチログループ品質保証規程」の浸透と適切な運用	・品質PDCA活動をグループ全体で展開 ・「設計開発」、「原材料調達」、「人材育成」を重点テーマと位置付け継続的な改善を図る	・「設計開発」、「原材料調達」に関する手順の見直し、改定等の実施 ・グループ共通の品質教育訓練規程にもとづく教育の実施、研修への参加を推進	・「設計開発」に関する説明(通達、e-ラーニング等)を実施 ・品質教育訓練について、社内外双方の研修を効果的に活用するよう周知活動を実施	マルハニチログループ(国内)	マルハニチロ(株)品質保証部
グローバル規格の食品安全マネジメントシステムの認証取得推進と効果的な運用	・すべてのサプライチェーンとの連携を強化 ・工場点検・指導の強化 ・品質衛生管理教育体制の充実化	・「国内協力工場品質保証会議」を筆頭に開催 ・工場監査計画にもとづく工場監査の実施 ・品質管理研修会は、全てe-ラーニング化し、計4回実施	・WEB会議システム等を活用した「国内協力工場品質保証会議」の開催を検討 ・工場衛生管理基準にもとづく計画的な工場監査の実施(リモート含む) ・品質e-ラーニングの受講率を上げるための施策を検討、実施	マルハニチログループ(国内・海外)、協力工場	マルハニチロ(株)品質保証部
「マルハニチログループフードディフェンス管理規則」にもとづく良好な工場環境の維持と防御レベルの向上	・工場点検・指導の強化 ・フードディフェンス管理教育の継続	・グループの生産拠点および協力工場の適合度調査および改善指導をリモートで実施 ・協力工場版のフードディフェンス研修をe-ラーニングにて実施	・グループの生産拠点、物流拠点および協力工場に対して、フードディフェンス管理基準の適合度調査点検、改善指導を実施(リモートを含む) ・グループフードディフェンス管理基準に関する研修会の継続実施	マルハニチログループ(国内・海外)、協力工場	マルハニチロ(株)品質保証部

## 「消費者志向経営」の推進

トップコミットメントにもとづく社内風土の醸成、および各部門の有機的連携	・「消費者志向経営」に関する啓発研修の実施 ・「消費者志向経営」を推進するための体制構築 ・「お客さまの声」を生かす事業活動の強化	・グループ全従業員にe-ラーニングを実施 ・業界団体の各種講演会への参加、消費者庁との双方向の情報交換による体制強化 ・商品改善検討会を毎月運営し、「お客さまの声」から32件の改善・改良を実施	・引き続き研修会を継続実施 ・引き続き業界団体の各種講演会への参加、消費者庁との双方向の情報交換による体制強化 ・「お客さまの声」をもとにした商品開発・改善・改良等に係る関係部署との活動促進	マルハニチログループ(国内)	マルハニチロ(株)お客様相談センター
お客さまへの情報提供の充実と、双方向の情報交換	・お客さまに満足いただける対応サービスの強化 ・安全・安心への取組み強化 ・持続可能な環境活動との連携 ・消費者教育「食育活動」との連携	・チャットボットを開発し、2020年8月、ホームページのお客さま相談室ページに開設 ・Q&Aサイト「Yahoo!知恵袋」の企業公式アカウントを取得し、お客さまのさまざまな疑問に回答 ・「お客さまの声」で問題が予測される案件の社内配信 ・コロナ禍でのお客さま対応サービスのため、在宅でも電話対応ができる仕組みを構築	・システムの効果的活用によるお客さまの満足度向上 ・消費者向け情報冊子配布によりお客さまの食生活向上への寄与 ・「お客さまの声」情報の評価・解析、およびリスク情報の早期発見と関係部署への連絡・招集	マルハニチログループ(国内)	マルハニチロ(株)お客様相談センター

## 「生涯健康計画」の推進

「生涯健康計画」にもとづくコミュニケーション活動の活発化、および研究・開発の強化	・プロモーション活動の推進 ・魚食および魚由来の機能成分の研究・開発	・小学5年生社会科副教材「サバの缶詰が出来るまで」6万部配布 ・サク白子由来プロタミンの口腔ケア向け商品化検討、核酸の新規機能性開発(日本水産学会発表2件)	・継続して、公式コミュニティサイトおよび公式SNSを通じた発信、イベント・キャンペーンなどの実施 ・機能性素材の開発	マルハニチログループ(国内)	マルハニチロ(株)コーポレートコミュニケーション部、中央研究所
ヘルス&ウェルネスへの貢献	・機能性表示食品、減塩やカルシウム強化、カロリーコントロールなどメタボ対策や骨強化などの「カラダの健康」への対応 ・食を食べることそれ自体も楽しんでいただけるなど、「ココロの健康」へも配慮する商品	・イワシに含まれるDHAやEPAを逃さず摂取することが可能な「まいわし油漬けエキストラバージンオイル」を発売 ・「エネルギーとたんぱく質」に重点を置いた病院施設からご自宅まで対応できる冷凍介護食品「やさしいおかずセット」シリーズ全42品を開発、発売	・継続して、市場ニーズに対応し開発および販売を通じ、生活者の普段からの食生活への取入れを啓発・促進	マルハニチログループ(国内)	マルハニチロ(株)コーポレートコミュニケーション部、中央研究所

成長機会の提供

中期目標	2020年度		2021年度	対象	責任部署
	行動計画(主な施策)	実績	行動計画(主な施策)		
・次期リーダー育成 ・グローバル人材育成 ・キャリア開発支援	・次世代経営人材育成プログラムの始動 ・グローバル人材育成の加速 ・人材育成スキームのリニューアル	・次期リーダー選抜研修の一部をオンライン実施 ・2020年度下期開講のグローバル人材育成対象者は48名、2021年3月時点で卒業生3名	・次期リーダー育成の継続実施 ・グローバル人材育成の継続実施 ・新人事制度(検討中)に連動した新たなライン管理職研修の実施	マルハニチロ(株)	マルハニチロ(株) 人事部

安全で働きやすい職場づくりの推進

安全で長時間労働やハラスメントのない職場環境の維持・促進	・管理職向けセミナーの開催 ・時間外労働の削減	・本社・支社の全従業員を対象としてe-ラーニング実施、グループに対しても動画コンテンツを作成 ・時間外労働の警告等を設定した基準ののっとり実施	・時間管理、ハラスメントに関する講習会の継続実施 ・システム改修による管理体制強化の継続と特別条項の導入も視野に入れた体制づくり	マルハニチロ(株)	マルハニチロ(株) 人事部
------------------------------	----------------------------	--	---	-----------	---------------

ダイバーシティの推進と働き方改革の実施

ダイバーシティ経営、働き方改革に対する意識の向上	・経営陣からの情報・メッセージ発信 ・社員間の横のつながりの強化	・経営陣からのメッセージをリレー形式で発信 ・オンラインによる社長と社員、取締役と社員の交流会実施(計8回)	・経営陣からのメッセージの定期的な発信 ・イントラサイト上の各部署作成の部署紹介の継続実施	マルハニチロ(株)	マルハニチロ(株) 人事部
・女性管理職比率の改善 ・子育て支援の充実	・認定マーク「くるみん」、「えるぼし」取得 ・社内向けフォーラムの開催	・「くるみん2020」認定、「えるぼし(2段階目)」認定を継続取得 ・男女を問わず復職後および未就学児の子育て社員を対象にセミナー実施	・第7回一般事業主行動計画次期行動計画の策定 ・復職後社員、未就学児の子育て社員およびその上司向けセミナー、e-ラーニングの継続実施	マルハニチロ(株)	マルハニチロ(株) 人事部
・業務効率の改善 ・ワークライフバランスの改善 ・多様な働き方の受容	・IT化の推進 ・新しい人事制度の創出 ・在宅勤務等の定着	・工場就労管理システムを本社就労管理システムへ統一 ・「従業員モチベーションサーベイ」の結果をイントラサイト・グループ報に開示 ・本社・支社は全部署フレックス化、在宅勤務の制度化完了	・就労管理システムの設定再整備とバージョンアップの実施 ・新たなライン管理職研修と連動した360°評価の実施 ・育児や介護等を事由とした週休3日制と副業認定規程の検討および導入	マルハニチロ(株)	マルハニチロ(株) 人事部

健康経営の推進

・従業員の健康増進 ・健康経営銘柄の取得	・健康診断事後措置の強化 ・メンタルヘルス対策の強化 ・健康推進・がん予防セミナーの開催等	・高血圧、高血糖、肝機能低下者の積極的ケアによる重症化予防強化 ・2020年度新入社員全員を対象とした臨床心理士との個人面談の実施 ・従業員を対象に、当社製品を活用した2ヵ月間の食生活改善イベントの実施	・健康診断受診率100%、ストレスチェック受検率90%の達成 ・産業医の介入、保健師の相談により、高血圧、高血糖、肝機能低下者をケア、私病による離職者低減への取組みの継続 ・2021年度新入社員に対する個人面談を実施 ・アプリやイントラネット、イベントを通じたヘルスリテラシーの強化	マルハニチロ(株)	マルハニチロ(株) 人事部
-------------------------	---	---	--	-----------	---------------

人権の啓発推進

人権問題への正しい理解・認識にもとづく差別を許さない人権尊重の企業風土づくり	・人権啓発推進活動 ・社内人権啓発研修の開催	・グループ人権方針を踏まえ、e-ラーニングによる研修を実施(受講者2,194名)	・e-ラーニング等による人権啓発のための研修を継続実施	マルハニチロ(株)	マルハニチロ(株) 人事部
--	---------------------------	--	-----------------------------	-----------	---------------

持続可能な調達の実践

「調達基本方針」、「サプライヤーガイドライン」、「腐敗防止宣言」にもとづくCSRに配慮したサプライチェーンマネジメントの実践	・「調達基本方針」、「サプライヤーガイドライン」、「腐敗防止宣言」のサプライヤーへの周知徹底 ・サプライヤーへのモニタリングの実施	・事業部、直営工場のサプライヤーに対し、ガイドラインの周知、遵守状況確認を目的とした調査を実施 ・一部のサプライヤーに対し人権調査の実施	・対象範囲を拡大しての人権調査実施 ・サプライヤー調査、人権調査の結果にもとづくフィードバック ・サプライヤーガイドラインの解説書作成、規程類作成による管理体制構築	マルハニチログループ(国内・海外)	マルハニチロ(株) 経営企画部
--	--	---	--	-------------------	-----------------

地域社会との共存・共栄

中期目標	2020年度		2021年度	対象	責任部署
	行動計画(主な施策)	実績	行動計画(主な施策)		
食の大切さを伝え、健康に貢献	・ライフステージに寄り添いながら、健やかなくらしを支える「食」の提案 ・持続可能な水産資源を使った料理教室の開催	・シェフ直伝親子料理教室を千葉と大阪にて実施 ・認証水産物を使った料理教室は新型コロナウイルスの影響で延期(2021年4月に開催)	・シェフ直伝親子料理教室の継続開催 ・MSC・ASC認証水産物を使った料理教室の継続実施	マルハニチログループ(国内)	マルハニチロ(株) 経営企画部
未来につなげる自然環境の保全	・事業場所在地における地域社会の環境保全活動への参加 ・持続可能な環境資源の普及	・海岸クリーンアップを秋の国際海岸クリーンアップに参加する形で実施(新型コロナウイルス対策のため減員計17名) ・アマモ場再生活動(花枝採取、種蒔き)の実施	・事業所周辺での清掃活動の継続実施 ・アマモ場再生活動の継続実施	マルハニチログループ(国内)	マルハニチロ(株) 経営企画部
地域社会の発展への貢献	・地域文化継承への協力 ・地域社会とのコミュニケーション ・モノづくりの価値を伝える機会の創出	・豊洲フェスタへの協賛(思い出詰づくり) ・中高生の企業訪問への対応、オンライン授業の実施 ・新型コロナウイルスの感染拡大を受け、医療従事者に支援	・新型コロナウイルスの影響を考慮しながら継続実施 ・中高生に対してオンライン授業の継続実施	マルハニチログループ(国内)	マルハニチロ(株) 経営企画部

地球温暖化対策

2021年度までにCO <sub>2</sub> 排出量を売上高原単位で2017年度比4%以上削減	・省エネルギー設備の増強 ・エネルギー効率の改善 ・ノンフロン冷凍機への転換 ・電気使用量の削減 ・重油・ガス使用量の削減	・グループで使用量削減に努めCO <sub>2</sub> 排出量は減少したが(2017年度比3.7%減)、売上高原単位では増加(2017年度比2.9%増) ・直営工場で作業環境改善による使用量削減 ・継続して物流拠点で脱フロン工事を実施 ・宇都宮工場に太陽光発電パネルを設置	・引き続き、作業環境改善による使用量の増加抑制 ・ノンフロン冷凍機への切替の実施 ・社内啓発活動による省エネ意識の向上	マルハニチログループ(国内)	マルハニチロ(株) 経営企画部
---	---	---	---	----------------	-----------------

循環型社会の構築

・2021年度までに廃棄物排出量を売上高原単位で2017年度比4%以上削減 ・2021年度までに廃棄物等の再生利用率99%をめざす	・製造トラブルの削減 ・原材料・資材・商品の廃棄削減 ・廃棄物の有価物化	・グループで使用量削減に努め廃棄物排出量は大きく減少したが(2017年度比8.8%減)、売上高原単位では目標未達(2017年度比2.5%減) ・廃棄物等の再生利用率は95.7%にとどまり、目標未達 ・システム活用による製造トラブルを削減 ・ブランドアクションのフードロスの見える化(マップ作成)等によるフードロス削減活動の推進	・継続してシステムを活用した保全活動により製造トラブルを削減 ・ブランドアクションを活用したフードロス削減活動の推進	マルハニチログループ(国内)	マルハニチロ(株) 経営企画部
--	--	--	---	----------------	-----------------

海洋資源の保全

・持続可能な漁業・養殖認証の取得を推進 ・IUU(違法、無報告、無規制)漁業廃絶への取組みを強化 ・完全養殖事業の拡大 ・環境配慮型養殖技術への取組みを推進	・MSC・ASCなどのエコラベル付き製品はそれぞれ2,133トン(2020年度対比387トン減)、19トン(2020年度対比131トン減)と減少 ・大西洋ニシン、赤魚、白糸ダラ等MSCの認証魚種の販売を増加 ・キーストーンダイアログ(SeaBOS)内のタスクフォース(IUU漁業、強制労働等)での活動推進 ・完全養殖クロマグロの生産量アップ ・増殖技術のR&D体制の強化	・MSC・ASCなどのエコラベル付き製品の拡販と商品開発の継続実施 ・SeaBOS内のタスクフォースの取組み推進 ・完全養殖クロマグロは悪化している事業採算と将来に向けた技術継承・革新に向けた必要生産量を考慮した生産量に抑制し、計画(11,000尾を計画) ・カンパチの完全養殖種苗生産の実施	マルハニチログループ(国内)	マルハニチロ(株) 経営企画部
---	---	---	----------------	-----------------